

緊急事態宣言の影響を受け、特に子どもたちとその家族をはじめ、これまでのサービスを受けることが困難となった人たちの課題に対し、助成を活用し、さまざまな取り組みが行われました。

コロナ禍により困窮された世帯を支援するため、食材を購入するほか寄付を募り、集まった食材を取りに来ていただいたり、対象者の世帯に届けたりする取り組みが各地で行われました。

(⇒写真：牛久市

お弁当無償提供とフードパントリー事業)



コロナ禍により困窮した人の中には、学生や一人暮らしの社会人もいます。こうした人達に対しても、食材を届ける取り組みが行われました。

(⇐写真：東海村

一人暮らしでも、独りじゃない！若者応援プロジェクト)



臨時休校中の児童に対する食の支援として、3密を避けるためドライブスルー形式にしてお弁当を配付するなど、さまざまな工夫をして子ども食堂を実施しました。

(⇒写真：石岡市 子ども食堂)



外出の自粛により一人暮らしの高齢者が孤立しないよう、生活用品を届けながら声掛けなどの見守り活動を行いました。

また、生活用品に応援メッセージや安否確認のハガキを添えるなどのきめ細やかな取り組みを行いました。

(⇐写真：常陸太田市

逢えないけどつながるプロジェクト)

